

令和8年2月16日

第 3 3 0 号

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

令和9年（2027年）4月、ポリテクカレッジ石川が能登で訓練を再開 全国初「デジタル創造技術科」で、ものづくり×デジタル人材を産業界へ



ポリテクカレッジ石川（厚生労働省所管の職業能力開発大学校）は、能登半島地震で被災した校舎を新設・改修。令和9年（2027年）4月に全国のポリテクカレッジで初の「デジタル創造技術科」を設置し、能登での訓練を再開します。

本校の再開は施設の復旧にとどまらず、能登の復興・再生に不可欠な「技術を持った若者」を地元で育成・定着させるためのプロジェクトです。

■ 本件のポイント

1. 「復興のシンボル」として能登で再開

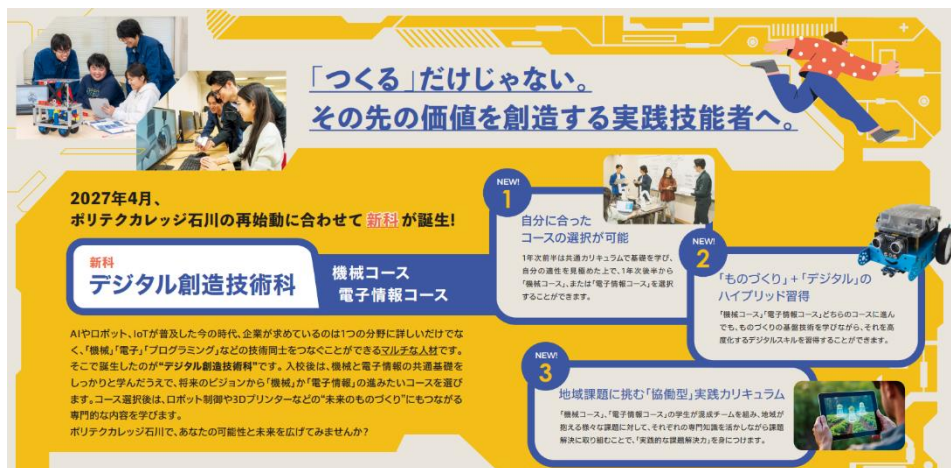
被災した実習棟を全面改修し、学生寮を建替え、能登の地で再開（Re-START）します。



新築学生寮イメージ

2. 全国初の訓練科「デジタル創造技術科」を設置

機械設計・加工、組込みソフトウェア等のものづくり技術に加え、AI・ロボット等のデジタル技術を学ぶ全国初の訓練科を設置し、地域の産業界に人材を輩出します。



「つくる」だけじゃない。
その先の価値を創造する実践技能者へ。

2027年4月、ポリテクカレッジ石川の再始動に合わせて **新科** が誕生！

新科 デジタル創造技術科 機械コース 電子情報コース

AIやロボット、IoTが普及した今の時代、企業が求めているのは1つの分野に詳しいだけでなく、「機械」「電子」「プログラミング」などの技術同士をつなぐことができるマルチな人材です。そこで誕生したのが「デジタル創造技術科」です。入学後は、機械と電子情報の共通基礎をしっかりと学んだうえで、将来のビジョンから「機械」か「電子情報」の進みたいコースを選びます。コース選択後は、ロボット制御や3Dプリンターなどの“未来のものづくり”にもつながる専門的な内容を学びます。ポリテクカレッジ石川で、あなたの可能性と未来を広げてみませんか？

NEW! 1 自分に合ったコースの選択が可能
1年次前半は共通カリキュラムで基礎を学び、自分の進路を明確めたくて、1年次後半から「機械コース」または「電子情報コース」を選択することができます。

NEW! 2 「ものづくり」+「デジタル」のハイブリッド習得
「機械コース」「電子情報コース」どちらのコースに進んでも、ものづくりの基礎技術を学びながら、それを高度化するデジタルスキルを習得することができます。

NEW! 3 地域課題に挑む「協働型」実践カリキュラム
「機械コース」「電子情報コース」の学生が遠征チームを組み、地域が抱える様々な課題に対して、それぞれの専門知識を活かしながら課題解決に取り組むことで、「実践的な課題解決力」を身につけます。

3. 地域企業と一体で“課題解決型実習”を実施

地域企業が抱える課題の解決に学生が取り組み、実践力の習得と地域産業への貢献を両立します。

■ 再開に至る経緯

令和6年能登半島地震で校舎が被災したため、令和6年4月から北陸職業能力開発大学校（北陸ポリテクカレッジ。富山県魚津市）に一時移転して訓練を継続しておりましたが、「地元で学びたい」「復興の役に立ちたい」「石川で訓練を再開してほしい」という声を受け、能登で再開することとしました。

■ 訓練科の内容

1. 設置科・定員・訓練期間

「デジタル創造技術科（機械コース／電子情報コース）」定員40名、2年間

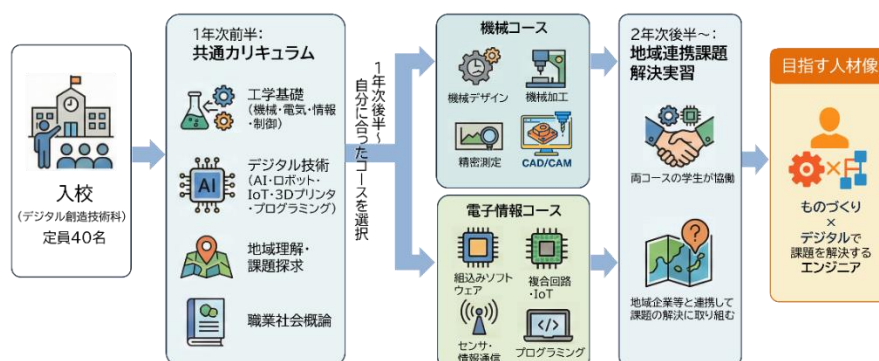
2. 育成する人材像

「ものづくり×デジタルで地域課題を解決するエンジニア」

デジタル創造技術科で育成するのは、デジタル技術を駆使し、地域課題の解決にむけた「ものづくり」に挑戦できる人材です。修了生は、製造現場のデジタル化を推進するキーパーソンとして、地域産業の課題を技術で解決するエンジニアとして、幅広い分野での活躍が期待されます。

希望者は北陸職業能力開発大学校への進学も可能です。

ポリテクカレッジ石川 新科『デジタル創造技術科』（2027年4月～）
～ものづくり×デジタルで課題解決人材を育成～



■ 校長 [北村雅嗣] コメント

震災という困難を乗り越え、再びこの能登の地で教育訓練を開始できることを感慨深く思います。これからの能登を作るのは『人』であり『技術』です。本校が、技術を志す若者たちの希望の灯火となり、地域産業の力強いエンジンとなるよう努めてまいります。

■ スケジュール（予定）

令和7年12月：復旧工事着工

令和8年12月末：実習棟改修完了

令和9年2月末：新築学生寮完成

令和9年4月：入学式

【本件に関するお問い合わせ先】

公共職業訓練部大学校課（担当：川村／樫原（イハラ））

TEL: 043-213-7239、7277

2027年4月
ポリテクカレッジ石川
再始動。



Re-
START

ISHIKAWA POLYTECHNIC COLLEGE

最新情報はここから





「つくる」だけじゃない。 その先の価値を創造する実践技能者へ。



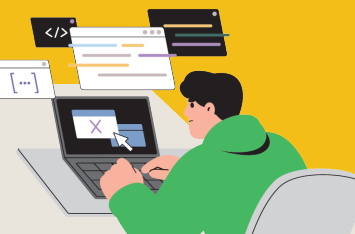
2027年4月、
ポリテクカレッジ石川の再始動に合わせて **新科** が誕生！

新科 デジタル創造技術科

機械コース
電子情報コース

AIやロボット、IoTが普及した今の時代、企業が求めているのは1つの分野に詳しいだけでなく、「機械」「電子」「プログラミング」などの技術同士をつなぐことができる**マルチな人材**です。そこで誕生したのが“**デジタル創造技術科**”です。入校後は、機械と電子情報の共通基礎をしっかりと学んだうえで、将来のビジョンから「機械」か「電子情報」の進みたいコースを選びます。コース選択後は、ロボット制御や3Dプリンターなどの“未来のものづくり”にもつながる専門的な内容を学びます。

ポリテクカレッジ石川で、あなたの可能性と未来を広げてみませんか？



NEW!

1

自分に合った
コースの選択が可能



1年次前半は共通カリキュラムで基礎を学び、自分の適性を見極めた上で、1年次後半から「機械コース」、または「電子情報コース」を選択することができます。

NEW!

2

「ものづくり」+「デジタル」の
ハイブリッド習得



「機械コース」「電子情報コース」どちらのコースに進んでも、ものづくりの基盤技術を学びながら、それを高度化するデジタルスキルを習得することができます。

NEW!

3

地域課題に挑む「協働型」実践カリキュラム

「機械コース」「電子情報コース」の学生が混成チームを組み、地域が抱える様々な課題に対して、それぞれの専門知識を活かしながら課題解決に取り組むことで、「実践的な課題解決力」を身につけます。



カリキュラムの流れ



STEP 1 1年次前半 共通カリキュラム

〔例〕工学基礎(機械・電気・情報・制御)、
職業社会概論 など



STEP 2 1年次後半～ 専門コースを選択

〔例/機械コース〕設計・加工・制御・シミュレーション など
〔例/電子情報コース〕IoT・通信・組込ソフトウェア など



STEP 3 2年次～ 地域課題解決実習

デジタル技術を活用し、地域の課題解決に取り組みます
〔例〕地域観光向けARガイドアプリ、地元農産物の自動選別機 など



就職・キャリア

ものづくり技術とデジタル技術をハイブリッドで習得するため、活躍するフィールドは多岐にわたります。

主な
職種
【例】



機械コース

設計・開発エンジニア、ロボット制御技術者、生産技術者 など



電子情報コース

IoTや通信システムのエンジニア、組込みソフトウェア技術者、生産現場のDX推進者 など

就職先
【例】

(株)穴水村田製作所、(株)石野製作所、(株)PFU、
石川サンケン(株)、小松電子(株)、シグマ光機(株)、澁谷工業(株)、中村留精密工業(株)
高松機械工業(株)など

※2021～2024年度 就職率/100%

進学先
【例】

北陸職業能力開発大学校(北陸能開大) など

学費・サポート

厚生労働省所管の大学校なので、充実したサポートが受けられます。

学費

入校料/169,200円 授業料(年間)/390,000円

サポート

- 入校料・授業料の減免制度あり(※世帯年収等に基づく)
- 新築・個室の学生寮完備(食事付き・インターネット回線有り)
- 少人数制の授業。個性に合わせた個別指導で授業と就職をサポート
- 希望者には、北陸能開大への進学やその後の大学院進学も支援

完成予定の学生寮【内観】



入試概要

開講時期/2027年4月

設置科・定員/デジタル創造技術科(機械コース、電子情報コース) 計40名

入試区分/社会人向け推薦、事業主推薦、特別推薦、一般推薦
自己推薦、一般

最新情報ははこちらから



Instagram



公式サイト



Youtube

ポリテクカレッジ石川

〒927-0024 石川県鳳珠郡穴水町由比ヶ丘いの45-1

<https://www3.jeed.go.jp/ishikawa/college/>

【一時移転先 電話番号】

TEL.0765-23-0169

E-mail ishikawa-college03@jeed.go.jp

